

MUFG 北海道推しごとオーディション FAQ

(2022.11.17 時点)

※随時更新予定※

Q1.事業者からの応募は可能ですか？

A1.ご応募は、自治体からのみとしています。事業者側で本オーディションに参加意向がある場合は、自治体ご担当者にご相談の上、ご応募ください（尚、自治体としての北海道は公募対象外です）。

Q2.一つの自治体から複数の応募は可能ですか？

A2.一つの自治体につき、二事業までご応募可能です。複数ご応募いただく場合には、各事業ごとに応募用紙と説明動画をご提出ください。尚、一つの自治体から複数の事業をご応募頂いても、事前審査・予備審査会を通じて SNS 動画配信イベントに進めるのは、一自治体様あたり一事業のみとなります。

Q3.本オーディションへ応募すると必ず寄附を受けることができますか？

A3. 本オーディションへご応募された取組みは厳正なる審査を経て、SNS 動画配信イベントへ進むことになります。その過程で、5-6 事業に絞る予定のため、残念ながら、SNS 動画配信イベントへ進むことができないこともありますので、ご容赦ください。また、SNS 動画配信イベントへ進むことができた場合であっても必ず寄附を受けることができるものではなく、主催者は寄附を受けることができる保証するものではありません。

Q4. 応募に必要な動画データは、どのような観点で審査されるのですか？

A4. 詳細は公募要領「6.選考基準」に記載がございますが、大きく分けて下記 4 つの観点で予選審査をいたします。

1. 次世代視点
2. 北海道地域課題解決
3. 事業性
4. MUFG がご支援したい事業

また、審査において応募時にご提出いただく事業説明動画のクオリティ（撮影技術等）は評価対象外となります。

Q5. 応募テーマは、公募要領に示されたテーマ以外でもよいでしょうか？

A5. あくまでも、応募要領にあるテーマは、例示となります。「課題解決先進地域たる未来の北海道の創造に寄与する取組み」であれば、応募条件を満たします。

Q6. SNS 動画配信イベントでは、どのような方に動画を視聴してもらえるのでしょうか？

A6. 主催者がインフルエンサーの協力を得て制作した動画はZ世代をターゲットとして配信しますが、SNSを活用して公開するため、Z世代をはじめ、広く視聴される想定です。

Q7.SNS 動画配信イベントで配信される動画の権利の扱いはどうなりますか？

A7. 主催者がインフルエンサーの協力を得て制作する、SNS 動画配信イベントに選出された事業を紹介するSNS配信用動画コンテンツに関する知的財産権その他一切の権利は、主催者に帰属するものとします。また、当該動画コンテンツの制作過程において自治体から写真および動画（参加者が写っているものを含みます）等の提供を受けた場合も同様に、知的財産権その他一切の権利は、主催者に帰属するものとします。なお、動画コンテンツの一部として公開する目的で、動画コンテンツ制作過程について撮影をすることがあります。この撮影される動画内および、自治体から提供を受けた素材（写真、動画など）の中に個人情報が含まれていた場合には、当該個人情報が公開されることに同意したものとみなします。

Q8. SNS 配信用動画の撮影は北海道で行うのでしょうか？

A.8 現時点では北海道現地ではなく、リモートで主催者と動画コンテンツ制作に協力するインフルエンサーとが各自治体とコミュニケーションを取りながら制作をすることを検討しています。

Q9. プログラム終了後の事業実施報告は、どのような内容を想定しておけばよいですか？

A9. 応募時にご説明いただいた事業の目的や目指すビジョンに対する、寄附金の使途や、事業の推進状況、事業で得られた効果・成果といった点が挙げられます。事業によって、スケジュールや報告内容の伝え方は変わると考えられるため、寄附を得た自治体と個別にご相談致します。

Q10. 本オーディションを通じて寄附を得た場合、主催者に対する手数料支払が必要になるのでしょうか？

A10. 主催者への手数料等は一切発生致しません。

Q11. いつ頃予選審査会の結果が分かるのでしょうか、また、いつ頃寄附がいただけるのでしょうか？

A11. 応募数による部分もありますが、現在、年明け2週目を目途にご連絡をさせていただくことで調整しております。寄附については、動画配信イベント開始後からお申し出が出てくる可能性がございます。もし、企業から個別にお問い合わせがあった場合は、事務局経由で自治体のご担当者におつなぎさせていただきますので、寄附の金額、時期等について個別で調整ください。

以上